



〈愛知自治体キャラバン〉 愛西市に介護・福祉・医療の拡充について要請

10月22日、愛知自治体キャラバンが愛西市を訪問しました。市と介護・福祉・医療などの施策について懇談し、施策の充実に要請しました。

年金者組合、新日本婦人の会、民主商工会などに所属する市民も参加し、自身の体験をもとに、切実な声を届けました。



キャラバン（右側）と愛西市（左側）

□介護関係

○特養に入れない

特別養護老人ホームに申し込んでも入れない。訪問介護などの事業所も倒産している。介護サービスの充実をしてほしい。

（回答）希望の場所でのサービスは受けられないかもしれないが、他の場所では受けられる状況にある。

○高齢者に補聴器助成を

周りで多くの人が悩んでいる。補聴器は高額で片耳10万円以上かかり、5年で買い直す必要がある。厚生労働省も難聴は認知症の危険因子といっている。県内30自治体で補助を行っているが、最大5万円と低い。東京港区では、13万7000円の補助を行っている。一日も早く助成を実現してほしい。また、難聴の検診も行してほしい。

（回答）優先順位もあり、検討には至っていない。認知症の危険因子であることは承知しているが、日本では進んでいない。実施している自治体も2〜3万円と少ない。聴力不足も原因は運動不足などにもあるので、早期の対策を行っている。

難聴検診は、他の自治体をみて検討



したい。

○認知症の検査を

先日も認知症の症状に気が付かず、車の事故がおきた。免許更新時の検査では間に合わない。認知症の検査を市の検診で実施してほしい。

（回答）検査は、今後の課題だ。

□福祉関係

○巡回バスを使いやすく

巡回バスを使いやすくしてほしい。佐織地区や八開地区から自転車で佐屋の福祉センターへ来ている高齢者もいる。

（回答）令和7年度に改正した。利用状況を確認しながら、市全体の移動手段として検討している。

○福祉センターに手すりを

佐屋福祉センターで、センター内で転ぶ高齢者を見かける。手すりが階段しかない。廊下やトイレなどにもつけてほしい。雨漏りも修理してほしい。

（回答）バリアフリー対策を行っているが、手すりについても検討していかなければならない。雨漏りは調査している。

○コミュニティセンター手すり改善を

勝幡コミュニティセンターの階段の手すりが太くて高齢者が握ることができない。もっと細い手すりに改善してほしい。

（回答）担当者に要望を伝える。

○5才児健診の実施を

国は5才児健診を2028年度から行うよう求めている。早期の実施をしてほしい。また、佐織保健センターでの子どもの健診がなくなったが、戻してほしい。

（回答）5才児健診について、ただ行うだけでなく、体制づくりをやったうえで実施したい。

健診は、佐屋保険センターに一本化した。

○精神3級の全疾病医療助成復活して

精神障害の全疾病医療助成の対象から3級が外された。3級の人の給料は7〜8万円くらいだ。年金があっても13万円くらい。医療費の負担が重い。助成を復活してほしい。

（回答）県事業で進めている。市の制度を見直した。今後、県事業や近隣自治体をみて検討したい。

□医療関係

○国保に支援を

国民健康保険税が高くて生活できない。自営業者は、47%もの税負担率となっている。市からの支援や、国、県に対して支援の要請を行ってほしい。

18歳まで均等割減免を行ってほしい。

（回答）県への要請はしている。生活への影響はあるが、値上げを行わざるをえない。

